

北の大地の嶺に立つ トムラウシ山・十勝岳

実施日 2010年7月8日(木)～12日(月)

天候 曇りのち雨

リーダー 若村 勝昭

参加者 若村貴世子、若村勝昭、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、中村友子、石原勝正

費用 航空運賃・レンタカー 43,500円、
宿泊費・食費・観光・雑費等
42,000円 合計 85,500円

タイム 7/9 トムラウシ温泉短縮登山口
(4:30)トムラウシ山頂上
(13:00～13:20)トムラウシ南
沼キャンプ場(14:30)

7/10 南沼キャンプ場(5:10)短
縮登山口(14:50)

7/11 十勝岳は中止し富良野
観光をした。

7/9 トムラウシ温泉短縮登山口の駐
車場に車を止め、スパッツをつ
け歩き出す。前日、トムラウシ
温泉の宿舎東大雪荘の前で下山
者を見ていたら、みんなドロド
ロ泥まみれで下ってくる。
覚悟して登山道に入ると、ほど
なくぬかるみの道が始まる。よける
所もなく、くるぶしまで泥には
まる。途中、トム天上を経る。

ゆるい
傾斜を辿
り、徐々
に高度を
上げやが
てぬかる
みが終わ
ると、急
斜面の下
り。せっか
くの高度
を失う。

渓谷を少し辿り、雪渓に入る。
やがて前トム平から稜線を登る。
晴天なら美しい景観であろうが、あ



いにくのガス。
トムラウシ
山直下の急
斜面を「あと何
分？」と高度
計とGPSの
持ち主に聞き

合わせながら喘ぎ喘ぎ登る。
ようやく頂上、ほんの少しガスが



切れ、南沼、北沼が見える。

記念写真後、雨になり雨具をつける。

頂上を越え、今夜の予定地ヒサ
ゴ沼避難小屋へと岩稜帯を下り
始める。と、私(若村)の左膝
を激痛が襲う。

登りの途中、若干の違和感あつ
たものの痛みはなかったが、
下りになり突発的痛みで、左足
が曲がらない。脂汗を流し両ス
トックにすぎた。同行者の膝サ
ポーターを借り、ザックも軽い
ものに交換してもらう。

頂上から2時間半のヒサゴ沼
避難小屋まで行き着くのは絶望
的と思う。同行者から「南沼キ
ャンプ場で泊まりましょう」と、
ありがたい提言。

幸い、ツェルトは4張り、ス
トーブ3台、各自にシュラフ、
防寒具2種、耳の隠れる帽子、
手袋、食料も3食+非常食と十
分あるので、ツェルトビバーク
に備えは十分。ただ、実際の経
験者が乏しいのが不安材料。季
節は夏だし、夜明けが寒いがス
トーブがあればツェルト内は汗
ばむ位になるから何とかなる、
と決意した。

普通は30分もかからぬ所を、
1時間半で南沼キャンプ場にた
どり着く。キャンプ場といつも
何の施設もなく、小川に沿って
テント指定地の広場があるだけ。
手分けしてツェルトをストック
や石を利用して張り始めたところ、
叩きつけるような豪雨、地面
はぐしょぐしょ泥まみれ、あ

わててツェルトにもぐりこむが、いっこうに止む気配なし。まさに、泣きっ面に蜂とはこのこと。急いで張ったツェルトの天井の布を通して体も濡れてくる。幸い体感温度は防寒具のお陰で寒くは感じない。雨の中で湯を沸かし、ぼつぼつ夕食の支度を…という時に、近くのツアー登山の女性ガイドの方が、豪雨の中を訪ねて来てくれた。「この雨の中では、ツェルトビバーグは大変でしょう。近所の他パーティーのテントに分散して宿泊させてもらってはいかがですか？リーダーの判断次第ですが…」とのアドバイス。一瞬、他パーティーに迷惑をかける、メンツがない等逡巡したが、昨年のトムラウシ遭難が脳裏をかすめ、かつビバーグ経験者が乏しい現状を鑑みて、恥を捨ててお願いすることとする。

女性ガイドの方が他テントに依頼し、7名が分散しご厄介になる。夕方雨が一時上がったが、夜半にまた豪雨。

テントの中で、同行者からいただいた膏薬を貼り、借りっぱなしのサポーターで膝の治療。「あす朝までに痛みが引かなければどうしよう？いざとなると道警のへりか？携帯は通じるか？」と思い悩み、シュラフの中で転々、悶々、でもぐっすり。

7/10 3時過ぎに起床、雨は上がっている。膝の痛みもだいぶ軽減、これならなんとか自分の足で降りられそうだ。各パーティーに謝意を表し、テントを出る

ストーブで湯を沸かし朝食、濡れたツェルト等をたたみ、出発の支度。ガスの中を一路下山を始めた。

私（若村）の荷物を、パーティーの皆さんに分散して持っていただく。メンバーにいただいた鎮痛剤も効果抜群で、膏薬とサポーターにも助けられつつ、

昨日の登路を下る。またまた泥だらけになりながら、ストックにすがりすがり短縮登山口へ。

国民宿舎東大雪荘で、泥靴、泥スパッツ、雨具を洗った後は温泉に一浴。昨日のキャンプ場では想像もつかない天国気分で汗を流す。

そこからは、一路レンタカーで十勝岳山麓の白銀温泉ペンションへ。

十勝岳登山は中止致しました。

翌日以降の富良野観光、旭山動物園観光等の報告は省略いたします。

お詫び

今回は若村の左膝故障で、同行者の皆様にはトムラウシ登山中に思わぬご迷惑、ご心配やご負担をかけました。

また、予定した十勝岳登山を中止致し、せっかくの機会と費用を空費させました。

まことに、申し訳なく思います。お詫びしてもしきれませんが、せめて紙面をお借りしお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

その後、左膝の痛みは軽減し、通勤の階段も無事上下しています。

今回効果抜群のサポーターも早速買い求めました。

今後はやはり事前のトレーニングが肝要と自覚し反省しております。

（記・若村 勝昭）
（写真提供・伊藤 久雄）

